

(教職員の皆様へ) 新型コロナウイルス関連肺炎の発生について [注意喚起：第4報]

中国(香港、マカオを含む)においては、湖北省全域以外に、浙江省温州市の感染症危険情報レベルが「3」に引き上げられました。その他地域の感染症危険情報レベルも依然「2」を継続し、日本国内においても引き続き感染者が出ていることから、保健所に感染症相談窓口が開設されております。また、日本政府からは、湖北省及び浙江省に過去2週間以内に滞在歴のある外国人の入国を拒否する方針が発表されております。

中国の武漢市に端を発し、各国に次第に感染拡大を見せている新型コロナウイルス関連肺炎については、世界保健機関(WHO)にて、令和2年1月30日付けで、「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態(PHEIC)」の宣言が行われました。

今後、更に感染が広がる可能性がありますので、以下の関連情報ホームページや報道等から各自最新情報を確認の上、安全確保を第一に考え慎重に行動してください。

中国や感染の広がりを見せている国々へ渡航を予定している方は、目的地の感染症危険情報レベルの状況によっては国や地域の対応が急に変更されることもありますので、当不要不急の渡航は控えてください。

(注) 中国における現在の感染症危険情報レベルの状況
湖北省全域：レベル3(渡航中止勧告：継続)
浙江省温州市：レベル3(渡航中止勧告：引き上げ)
上記以外の地域：レベル2(不要不急の渡航中止：継続)

また、海外からの帰国者及び感染が懸念される方は、少なくとも2週間は健康状態に注意し、咳や発熱等の症状が現れた場合は大学には出勤せず、まずは保健管理センター(電話：087-832-1282)へ電話で連絡してください。

特に、中国(香港、マカオを含む)からの帰国者のうち、**湖北省若しくは浙江省からの帰国者、又は湖北省若しくは浙江省在住・滞在の方と接触があった方で、感染が懸念される方については、速やかに、本人若しくは家族から最寄りの保健所の感染症相談窓口(以下のとおり)に連絡・相談すると共に、給与福利G(電話：087-832-1052)にも一報し、**今後について指示を受けてください。

上記以外で感染が懸念される方については、新型コロナウイルス相談窓口(フリーダイヤル：0120-565653)(土日・祝日含む9時～21時受付)へ連絡・相談すると共に、給与福利G(電話：087-832-1052)にも一報し、今後について指示を受けてください。

なお、新型コロナウイルス関連肺炎の感染が懸念される方の勤務措置については、2週間の就業禁止(有給)とします。

風邪やインフルエンザへの対策と同様に、マスクの着用や手洗い等、通常の感染対策を行ってください。くしゃみや咳が出る場合は、マスクをする、ティッシュやハンカチで口や鼻を覆う等の「咳エチケット」を行ってください。

令和2年2月17日
危機管理担当理事
真鍋 光輝

○保健所感染症電話相談窓口(帰国者・接触者相談センター)

(8時30分～17時15分)

小豆保健所：0879-62-1373

東讃保健所：0879-29-8261

中讃保健所：0877-24-9962

西讃保健所：0875-25-2052

高松市保健所：087-839-2870

岡山市保健所：086-803-1360 (平日9時～17時)

倉敷市保健所：086-434-9810 (平日9時～17時)

<<関連情報ホームページ>>

○文部科学省新型コロナウイルス対策特設ページ

https://www.mext.go.jp/a_menu/coronavirus/

○新型コロナウイルス関連肺炎(厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

○外務省海外安全ホームページ

<http://www.anzen.mofa.go.jp>

○国立感染症研究所ホームページ

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>

○外務省「たびレジ」登録サイト

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/index.html>

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/index.html>

中国(香港、マカオを含む)から帰国した教職員の皆様へ

教職員の皆様を新型コロナウイルス感染から守るために下記の手順に従ってください。

